

- 問1 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？
- 問2 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？
- 問3 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？
- 問4 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？
- 問5 聖徳太子が、中国の隋に対して対等な外交関係を求めて送った使節を何という？
- 問6 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
- 問7 奈良県の法隆寺などが該当する、飛鳥時代に日本で発展した現存する最古のものは何？
- 問8 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？
- 問9 663年に、百濟復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？
- 問10 7世紀後半、壬申の乱で勝利し、天皇を中心とした国づくりを強力に進めた天皇は誰？
- 問11 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築物群として飛鳥文化を象徴する寺院を何という？
- 問12 奈良県の法隆寺などが代表する、現在世界で最も古い建物群のことを何という？
- 問13 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
- 問14 壬申の乱で大友皇子と皇位を争った、天智天皇の弟は誰？
- 問15 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？
- 問16 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？
- 問17 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
- 問18 推古天皇が才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
- 問19 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？
- 問20 聖徳太子が、家柄に関係なく才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？
- 問21 百濟などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
- 問22 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？
- 問23 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問2	答え 渡来人	渡来人たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。特に白村江の戦いの後の防衛施設建設や、寺院の建立には彼らの技術が不可欠でした。
問3	答え 十七条の憲法	604年に制定されました。役人が守るべき心構えを全17条で記しており、その第2条には「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」が説かれています。儒教的な考え方や仏教の教えに基づき、和を大切にすることなどを強調しました。
問4	答え 中央集権	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。地方の豪族から土地や民を公のものとする「公地公民」を掲げ、中央政府が全国を一括して管理するシステムを構築しました。
問5	答え 遣隋使	遣隋使は、小野妹子らによって何度か派遣されました。単なる交流だけでなく、隋の進んだ政治体制や文化、技術を取り入れることが大きな目的でした。当時の国交においては中国が中心となる朝貢的な関係が一般的でしたが、聖徳太子は「日出づる処の天子」という表現を用いることで、日本が対等な独立国であることを示そうとしました。
問6	答え 律令制度	律令制度とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。飛鳥時代の聖徳太子の時代から準備が始まり、大陸の制度を参考にしながら、天皇を頂点とした官僚的な政治システムを構築しました。これにより全国の土地や人々を直接管理することが可能となりました。
問7	答え 木造建築物	法隆寺の金堂や五重塔などの西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物です。当時の優れた技術を示しており、エンタシス（柱の中央が膨らむ技法）などの特徴が見られます。
問8	答え 白村江の戦い	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。この敗戦により、日本は朝鮮半島での影響力を失い、次に唐が日本へ攻めてくることを恐れるようになりました。
問9	答え 白村江の戦い	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。この敗戦は、当時の日本にとって国際的な大きな転換点となりました。
問10	答え 天武天皇	天武天皇は飛鳥浄御原宮に都を定め、天皇を頂点とする専制的な政治体制を確立しました。また、歴史書である『日本書紀』の編纂を命じ、富本銭の鋳造を行うなど、国の基盤整備に力を注ぎました。
問11	答え 法隆寺	法隆寺は、聖徳太子によって建立された日本最古級の寺院です。現存する金堂や五重塔などの建物は、世界で最も古い木造建築物群としてユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の建築技術や仏教美術の粋を伝えており、飛鳥時代の高度な国際交流の様子を現代に伝えています。
問12	答え 木造建築	法隆寺の西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物群として有名です。木材の特性を生かした緻密な接合技術や、金堂・五重塔に見られる建築様式は、当時の高度な土木・建築技術を今に伝えています。
問13	答え 飛鳥文化	「飛鳥文化」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。建築、彫刻、絵画などにおいて大陸の様式が積極的に取り入れられ、高度な技術が伝えられました。
問14	答え 大海人皇子	大海人皇子は672年の壬申の乱において、地方豪族の協力を得て大友皇子を倒しました。この勝利により、古代日本において天皇の権威を確立する重要な役割を果たしました。
問15	答え 聖徳太子	聖徳太子は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。また、仏教を深く崇敬し、法隆寺などを建立して文化の発展を支えました。
問16	答え 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿を作ることで、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問17	答え 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問18	答え 冠位十二階	603年に制定されました。役人に位を表す冠を与え、その色は徳・仁・礼・信・義・智の儒教的な道徳に基づく階層を示しました。これにより、有力豪族だけでなく、能力のある人物を政治に参加させる道が開かれました。
問19	答え 奈良県	奈良県には法隆寺のほか、飛鳥寺や四天王寺などの初期仏教寺院が建てられ、大陸文化の影響を受けた美術が発展しました。この地域の独自の風土から、日本の古代文化が形作られていきました。
問20	答え 冠位十二階	冠位十二階は、役人に能力や功績に応じて12段階の位を与え、それぞれ色分けされた冠を身につけさせる制度です。これにより、家柄にとらわれない公正な人事を行い、天皇を中心とした国家運営を支える官僚組織を目指しました。
問21	答え 渡来人	渡来人は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。彼らの技術は、大和政権の国づくりや、寺院の建設、都市計画に不可欠なものとなりました。
問22	答え 律令国家	律令国家とは、国の決まりである「律」と「令」に基づいて、天皇が全国を統治する国家の形です。都に政治の中心を置き、官僚が整備され、国民は公地公民（土地と人民は天皇のもの）という原則のもとで戸籍に登録されました。これにより、日本は法治主義的な性格を強めた国へと生まれ変わりました。
問23	答え 冠位十二階	603年に制定された冠位十二階は、役人に大徳から少信まで12のランクを設け、色分けされた冠を授けることで地位を表す制度です。家柄ではなく実力で地位が決まる仕組みを作ることで、朝廷への忠誠心を高め、有能な人材を活用することを目指しました。